



男性中心の業界でも、多くの女性が活躍している

株式会社ダイム ワカイ

代表者/石川 孝一
住 所/京都市下京区中堂寺前町34
T E L/075-343-1260
事業内容/金属屋根材製造・販売・施工
従 業 員/74名(うち、女性32名)



左から、営業部の佐々木さん、石川社長、河田課長

「人を育てる」社風が女性活躍の原動力

昭和22年創業の株式会社ダイム ワカイが、複雑な形状を柔軟に実現する屋根材「パーフェクトルーフ」シリーズを発表したのが平成元年。その販促戦略の中で、男性社会の建築業界にあって、当時としては異例の「女性だけの設計営業チーム」が生まれ、善戦を続けている。これはほんの一例で、男女の別なく能力を発揮できる場を与える企業姿勢は、現在、10名の管理職のうち4名が女性という事実からも伺える。

3児の母である河田加代さんは20数年前に事務職で入社し、その後、営業へ転属。「最初は抵抗がありましたが、社内の女性たちの活躍が励みになりました。実際やってみると人と接することが楽しくて。今になって思えば、よい転機になったと思います」と穏やかに微笑む。子育てと並行しながら実績を積み、昨年の秋からは開発室東日本事業部の課長として東京に単身赴任中。同様に家庭と両立し、現在中部事業所で所長を務める女性社員もいる。一方、6年前に入社した佐々木杏菜さんは設計営業を経験したのち、女性で初めて現場と会社のパイプ役を担う工事営業職に抜擢された。「より深

い専門知識が必要で最初は不安だけでしたが、多くの現場で経験を重ね、自信がつかえました。新人の頃お世話になった方と再会して、『変わったね』と成長を認めていただけたのが嬉しかったです」という言葉からも、働く楽しさがあふれ出ている。この成功を得て同職に女性が2名増員された。「関わった物件が地図に残っていくことが大きな喜びです」と語る佐々木さんだが、もともと建築の知識は皆無。実は社員の大半が、入社後の教育・研修で必要な知識と力をつけてきた。同社では「教育・研修は不可能を可能にする」というモットーを掲げ、あらゆる形で人材を育てる企業文化を根付かせている。平成27年からは全社員を対象に職種別に専門的な知識が学べる「企業内大学」を開講するなど、向上心の涵養にも余念がない。

産休・育休などの制度は、今後本格的に利用者が増える見込み。「私たちの経験を生かしながら、時代に応じて利用しやすい環境を整えていきたいですね」という河田さんの言葉からも、互いに学びあいチーム力を高めてきた企業ならではの温もりが伝わってきた。

京都商工会議所は、輝く女性を応援しています。

KWB 女性活躍支援拠点
京都ウィメンズベース

<http://kyoto-womens.org>

京都市中京区御池通東洞院西入 京都御池第一生命ビル8階
TEL:075-744-6700 FAX:075-744-6702